



市民記者が行く!!

かめやま見てある記

菅内町本郷の亥の子

起源が景行天皇時代(西暦100年頃)といわれる「亥の子」は主に西日本で、また亀山市内でも両尾、安坂山、布気など多くの地区で行われています。

今回、菅内町本郷地区で「亥の子」の伝承、世話人を行っている岡安克巳さんにお話を伺いました。

毎年、11月14日にお米の刈り入れ、収穫を祝い「田の神様」を山にお返しするため、子どもたちが藁で作った亥の子で地面をたたき、唄をうたいながら各家を回ります。各家では遠くから唄声が聞こえてくると、お菓子などを準備し、玄関を開けて待っています。10月に入ると、村の長老4人が子どもたちを集め、その年に収穫された稲で亥の子作りが行われ、稲藁のしごき、槌打ち、縄ない、完成までを指導されるそうです。土の上で叩いた時、良い音が出るように、



老4人が子どもたちを集め、その年に収穫された稲で亥の子作りが行われ、稲藁のしごき、槌打ち、縄ない、完成までを指導されるそうです。土の上で叩いた時、良い音が出るように、



赤唐辛子を藁のなかに入れる工夫がされているとお話されました。

亥の子で各家を回る小学生は、多い時は50人程が参加して大変賑わったそうですが、現在は幼稚園児、小学生を合わせて10人程で行っているとのこと。子どもたちは各家の玄関前で家人に「誰にしますか?」と、その日唄い上げる人の名前を尋ねてから、「いのこ いのこ いのこの晩に…」と唄い上げた後、各家からご褒美として、お菓子などをいただき楽しい時間を過ごすようです。

各地域で唄の内容も微妙に異なっていますが、伝統行事として、これからも末永く唄い継がれて欲しいと思います。

市民記者 豊田 康文さん



ハローキッズ

このコーナーでは、元気なかめやまっ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書室(☎84-5021)までご連絡ください。



父 真光さん

母 りささん (亀田町)

松山 まつやま

理奈 りな

ちゃん 平成26年12月17日生まれ



小林 こばやし

芽生 めい
蒼 くら

ちゃん(右) 平成27年2月28日生まれ
くん(左) 平成28年8月31日生まれ

父

武生さん

母

明香さん

(川合町)

2人とも元気にすくすく育ってね♡

笑顔いっぱい大きくなってね!



市の人口 12月1日現在 ●総人口 49,736人(前月比+6) ●男 24,868人(前月比+10) ●女 24,868人(前月比-4) ●世帯数 20,814世帯(前月比+29)



広報かめやま

第276号 平成29年1月1日 発行: 亀山市 編集: 企画総務部広報秘書室 印刷: 株式会社アイブレン

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111代 FAX 0595-82-9955 ホームページ <http://www.city.kameyama.mie.jp>

広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。 R2000

